



済生会富山病院報



五箇山の秋

臨床検査科 山本富夫

目次



「患者さん満足度調査」結果について・・・ 2～4
 平成24年度「外来患者さんの待ち時間調査」
 結果について・・・ 5～9
 第5回脳卒中合宿セミナーを終えて・ 10
 「嚥下障害」～口から食べることをあきらめない～ 10

認定看護師合格の声…………… 11
 夏祭り…………… 13
 私達の職場…………… 13
 新人自己紹介…………… 14～15
 理念・基本方針…………… 16

「患者さん満足度調査」結果について

医療向上推進委員会 医療安全管理者看護師長 黒原 直美

当院では、患者さんそしてご家族のみなさんに満足していただける、すぐれた医療の提供を目指しております。

その一環として、外来診察を受けられる方や入院中の患者さんに「患者さん満足度調査」を実施し、この結果を今後の病院運営の参考とさせていただき、患者さんに対するサービスの充実に努めてまいりたいと考えています。

外来部門は平成24年2月15日から2月17日の3日間、外来を受診されました患者さん731人の方から有効回答をいただきました。また、入院部門は、平成24年2月から4月の3か月間に退院される患者さん259人の方から有効回答をいただきました。

このたび、その結果がまとまりましたので報告させていただきます。今回の調査にご協力いただきました皆さまには厚くお礼申し上げます。

当院の選択理由

外来部門(表1)では「家や通勤先などから近いから」が43.7%と最も多い結果となりました。当院は地域の方々に多くご利用頂いていることがわかります。「他の医療機関からの紹介で」が昨年より5.1%増加しており、地域の病院との連携を進めている結果増加したと思われる。

入院部門(表2)では「良い医師がいるから」が44.3%と最も多い結果となりました。次いで「救急受け入れで」が35.1%となりました。昨年より7.8%増加しており、富山医療圏における救急輪番体制や脳卒中センターにおける24時間救急の受け入れが増加したためと思われる。

当院の選択理由

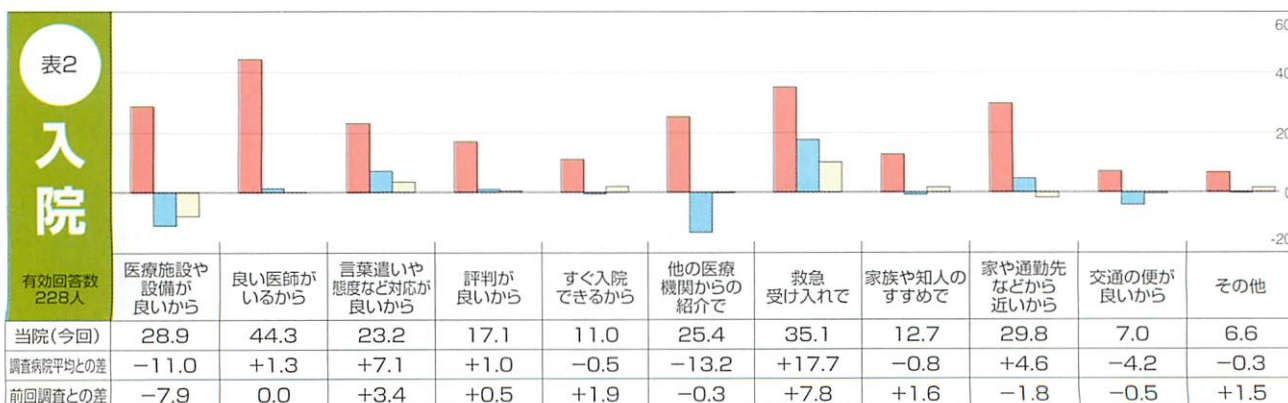
単位 % (複数回答)

凡例

当院(今回)

調査病院平均との差

前回調査との差



患者さん満足度調査の結果(外来部門)

下記の表に示す各項目についてアンケートによる評価を頂きました。

施設面におきましては、全体の80.8%が満足と感じていただいています。「駐車場の広さや入りやすさ」で不満と答えられた方が約10%見られました。患者さんの集中する曜日や時間があり混み合うためと思われます。申し訳ございません。

接遇面ではおおむね良い評価を頂いているのですが、「プライバシーへの配慮」以外の項目では昨年より若干満足度が低下していました。今後も職員一同さらに努力していきます。

診察サービス面におきましては「診察の待ち時間」に不満が多く見られました。外来待ち時間調査も定期的に行っており、外来の待ち時間の短縮に向けて検討を行い更に改善に向け努力したいと思います。

患者さん満足度調査結果(入院部門)

下記の表に示す項目についてアンケートによる評価を頂きました。

施設面におきましては、全体の87.9%が満足と感じていただいています。「トイレ、洗面、給湯等の設備」と「売店、食堂、自動販売機」で不満と答えられた方が約5%見られました。

病室環境面では「食事の内容」に不満と答えられた方が約9%と多く、満足いただける食事の提供ができるよう、今後も努力していきたいと思ひます。

接遇面では、各職種の「言葉使いや態度」とも不満はほとんど見られず、今後も患者さんに満足いただける接遇を心懸けるよう努力していきたいと思ひます。

診療面では、全体の90%以上が満足と答えられ、不満はほとんどみられませんでした。今後も職員一同さらに努力していきます。

外来部門	調査期間	平成24年2月15日～2月17日		回答者数	731人		
	凡例	非常に満足	満足	どちらともいえない	やや不満	不満 (%)	
*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点							
施設面	①交通の利便さ	15.9	49.9	24.6	5.7	3.9	インデックス (100点満点) 67.1
	②駐車場の広さや入りやすさ	14.2	54.4	21.2	8.1	2.1	67.6
	③建物の外観やつくり	15.6	64.6	19.0	0.7	0.0	73.8
	④総合待合室の設備や雰囲気	15.2	63.9	20.1	0.6	0.1	73.4
	⑤各科の待合室の設備や雰囲気	12.9	62.8	22.4	1.4	0.4	71.6
	⑥トイレや洗面所設備	16.9	64.3	16.4	2.0	0.4	73.8
	⑦売店、食堂、自動販売機	11.4	54.4	31.4	2.2	0.5	68.5
	⑧案内看板や表示のわかりやすさ	13.6	61.7	22.9	1.6	0.1	71.8
	⑨清潔感	20.6	65.7	12.7	0.7	0.3	76.4
	●施設面全般について	15.0	65.8	18.6	0.6	0.0	73.8
接遇面	①総合案内や会計の対応	17.2	64.0	16.5	1.9	0.4	73.9
	②各科診療受け付けの対応	22.6	63.4	13.0	0.6	0.4	76.8
	③看護師の言葉使いや態度	27.4	63.3	8.7	0.3	0.3	79.3
	④医師の言葉使いや態度	28.6	62.0	8.1	0.8	0.4	79.4
	⑤検査・放射線技師の言葉使いや態度	21.7	63.0	14.8	0.3	0.2	76.4
	⑥プライバシーへの配慮	18.3	59.7	20.4	1.4	0.3	73.5
	●接遇面全般について	18.3	66.0	15.0	0.4	0.3	75.4
診察サービス面	①診察待ち時間	7.0	34.4	36.1	17.6	4.8	55.3
	②診察時間	12.3	54.4	28.4	4.4	0.4	68.4
	③診察後の支払いまでの待ち時間	11.0	48.8	33.5	6.2	0.4	65.9
	④看護師の説明のわかりやすさ	19.8	64.3	15.1	0.6	0.3	75.7
	⑤医師の病状や検査結果の説明	21.3	63.1	12.7	2.3	0.6	75.6
	⑥医師への質問や相談のしやすさ	21.8	58.4	17.1	1.7	1.0	74.6
	●診察科でのサービス全般について	17.0	62.2	19.8	0.9	0.1	73.7

入院部門

調査期間 平成24年2月15日～4月16日の間にアンケート票を配布。

回答者数 259人

凡例	非常に満足	満足	どちらともいえない	やや不満	不満	(%)
----	-------	----	-----------	------	----	-----

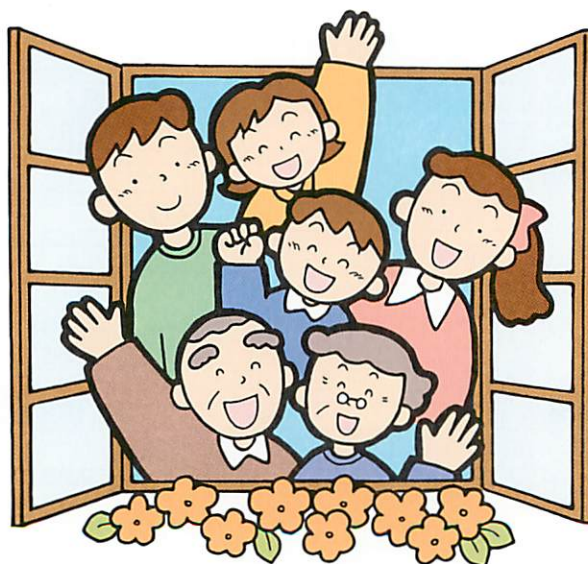
*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

院内施設面						インデックス (100点満点)
	非常に満足	満足	どちらともいえない	やや不満	不満	
①建物の外観やつくり	26.0	62.8	11.2	0.0	0.0	78.7
②医療機器等の設備	29.6	59.3	10.3	0.8	0.0	79.4
③トイレ、洗面、給湯等の設備	22.7	61.0	12.4	3.6	0.4	75.5
④売店、食堂、自動販売機	16.7	58.4	20.8	4.1	0.0	71.9
⑤整理整頓や清掃状態	26.8	59.2	10.4	3.2	0.4	77.2
●院内施設面全般について	23.8	64.1	12.1	0.0	0.0	77.9

病室環境面						インデックス (100点満点)
	非常に満足	満足	どちらともいえない	やや不満	不満	
①病室の居心地(清潔さ・広さなど)	26.1	60.9	10.3	2.4	0.4	77.5
②ベッド、寝具、ベッド周り設備	19.7	61.4	15.7	2.4	0.8	74.2
③冷暖房や照明	19.7	59.0	14.9	6.4	0.0	73.0
④食事の内容	14.9	43.0	32.9	6.4	2.8	65.2
⑤食事時間や起床・消灯時間	15.6	59.4	23.8	1.2	0.0	72.3
●病室環境面全般について	19.5	59.8	18.7	1.2	0.8	74.0

接遇面						インデックス (100点満点)
	非常に満足	満足	どちらともいえない	やや不満	不満	
①事務職員の言葉使いや態度	40.2	52.4	7.1	0.4	0.0	83.1
②看護師の言葉使いや態度	49.4	46.3	3.1	0.4	0.8	85.8
③医師の言葉使いや態度	49.8	45.9	3.5	0.8	0.0	86.2
④検査・放射線技師の言葉使いや態度	42.3	52.0	5.3	0.4	0.0	84.0
⑤プライバシーへの配慮	30.6	57.3	10.9	1.2	0.0	79.3
●接遇面全般について	34.1	56.5	8.1	0.8	0.4	80.8

診療面						インデックス (100点満点)
	非常に満足	満足	どちらともいえない	やや不満	不満	
①看護師の説明のわかりやすさ	36.6	55.1	6.7	1.2	0.4	81.6
②看護師の採血や介助の手際よさ	35.0	53.1	10.6	0.8	0.4	80.4
③医師への質問や相談のしやすさ	39.7	50.0	9.1	0.8	0.4	81.9
④医師の病状や検査結果の説明	39.3	51.2	6.7	2.4	0.4	81.6
⑤医師の病状に対する処置の適切さ	40.6	51.4	7.2	0.8	0.0	82.9
●診療サービス面全般について	30.0	60.8	8.0	0.8	0.4	79.8



平成24年度「外来患者さんの待ち時間調査」 結果について

診療部長 清水 哲朗 看護師長 谷川 静子
情報管理室主事 川部 泰臣 沖崎 伸介

当院は、「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を基本理念とし、患者さん、ご家族、そして住民のみなさまにご満足いただける医療をこころがけ、日々の診療に携わっています。

患者さんの待ち時間に対するご不満は、病院に対する満足度低下の大きな要因であると思われま。当院では、毎年「外来患者さん待ち時間調査」を行い、待ち時間の改善に向けた対策を実施しております。

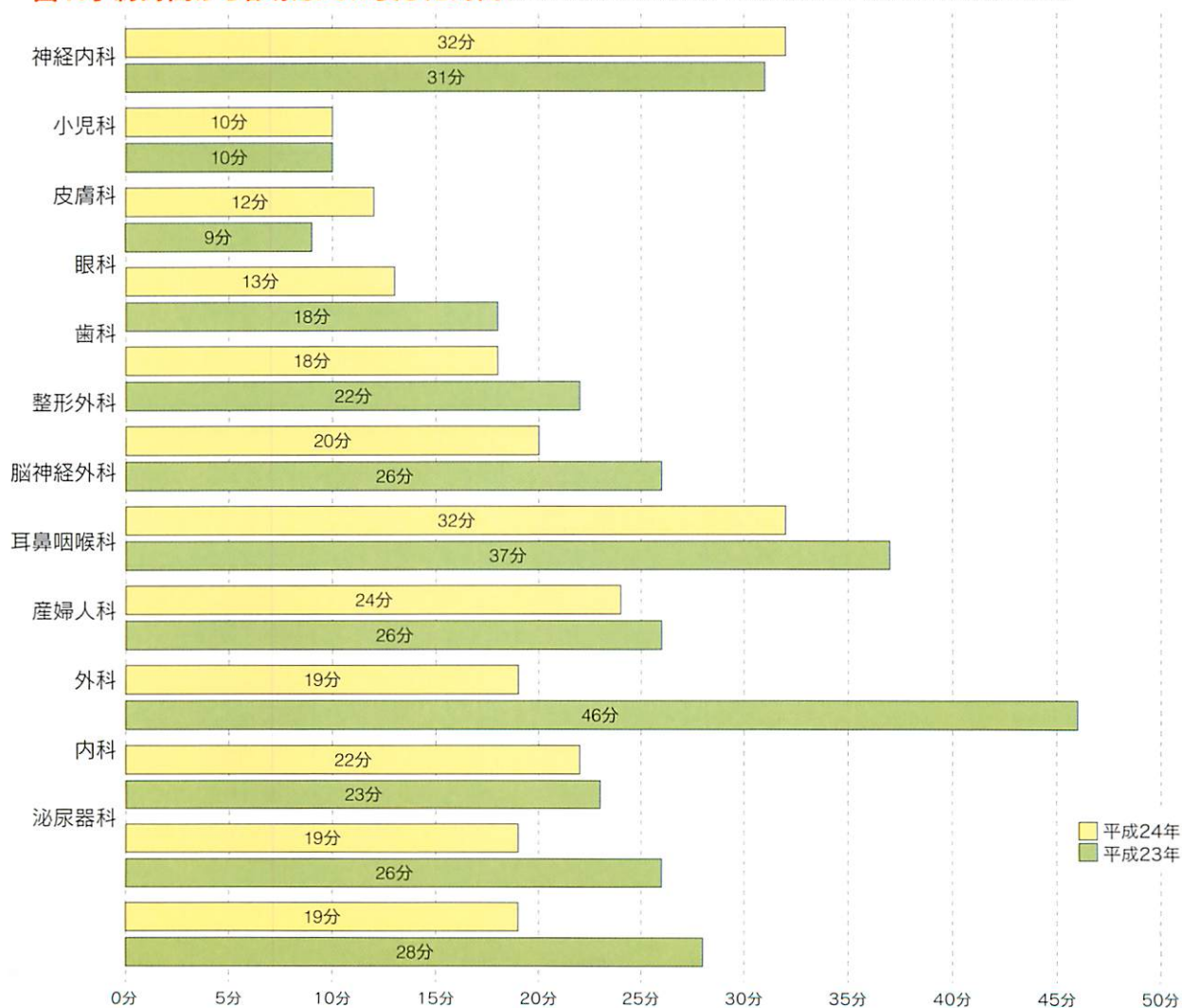
このたび、平成24年度調査を行いましたので、その結果と分析の概要をご報告させていただきます。

1.調査期間と調査患者数

調査は、平成24年6月18日(月)から22日(金)までの5日間にわたり行いました。その間の延べ患者数は、初診260名(平成23年206名)、再診1,897名(平成23年1,885名)の計2,157名(平成23年2,091名)でした。

2.ひとつの科だけにかかっておられる患者さんが再診された場合の 予約時間から診察までに要した時間

図1.予約時間から診察までに要した時間(予約時間帯以前に、再診・単科のみ受診された患者さんについて)



昨年と比較すると、全科平均で5分17秒待ち時間が短縮されていました。13診療科中待ち時間が延長したのは皮膚科と神経内科のみで、それぞれ2分31秒、1分12秒の延長でした。11診療科で短縮されましたが、特に産婦人科では、27分39秒短縮され、昨年の待ち時間から著明に改善されました。

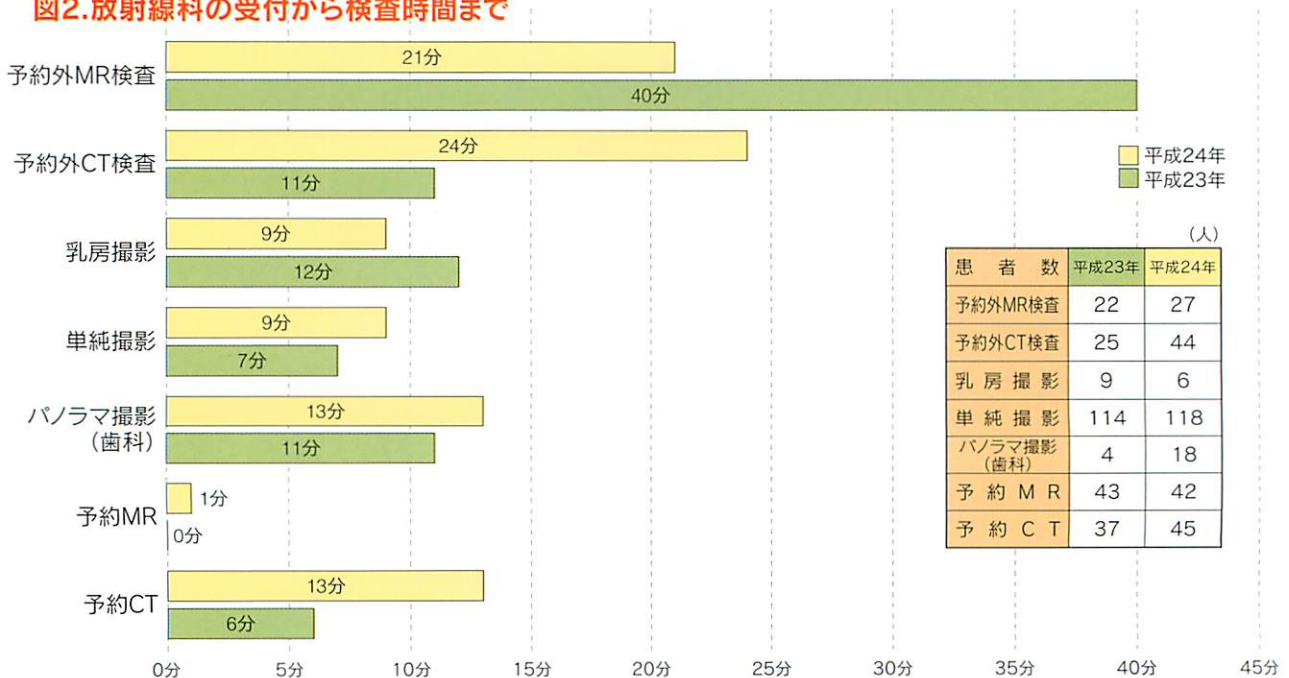
3.ひとつの科だけにかかっておられる患者さんが再診された場合の 予約時間から診察までに要した時間(各科・曜日ごと)

平成24年	6/18(月)		6/19(火)		6/20(水)		6/21(木)		6/22(金)	
診療科	時間	名	時間	名	時間	名	時間	名	時間	名
泌尿器科	8分48秒	10	6分40秒	3	26分7秒	9	24分16秒	11	29分40秒	3
内科	17分53秒	17	19分	5	22分58秒	27	16分24秒	20	18分55秒	24
外科	8分	3	53分36秒	5	17分	5	18分40秒	15	14分	3
産婦人科	2分20秒	3	15分15秒	4	13分30秒	4	29分8秒	8	20分8秒	8
耳鼻咽喉科	43分30秒	2	35分20秒	6	———	0	8分20秒	3	15分5秒	7
脳外科	26分15秒	8	40分37秒	13	18分40秒	6	45分44秒	11	24分56秒	17
整形外科	10分12秒	5	26分56秒	17	16分49秒	11	8分	5	24分17秒	14
歯科	20分27秒	18	19分55秒	12	16分44秒	11	15分	9	16分17秒	14
眼科	14分36秒	10	2分20秒	3	11分	6	13分27秒	9	15分45秒	12
皮膚科	18分30秒	6	9分	2	13分40秒	3	9分36秒	5	4分20秒	3
小児科	———	0	9分	1	10分30秒	2	———	0	———	0
神経内科	24分30秒	2	———	0	34分36秒	10	———	0	———	0
全科平均	17分44秒		21分36秒		18分19秒		18分51秒		18分25秒	

曜日別に待ち時間を見ますと、平均では17分44秒から21分36秒で、大きな差はありませんが、泌尿器科は(月)、(火)が短く、外科は(火)が極端に長く、脳外科では(火)、(木)が長いといった傾向が認められます。その要因として、患者さんの受診曜日の偏り、担当医師による偏り、予約による分散が不適切などが考えられますが、1週間のみの調査ですので、今後のさらなる分析が必要と思われます。

4.放射線検査の待ち時間と検査時間

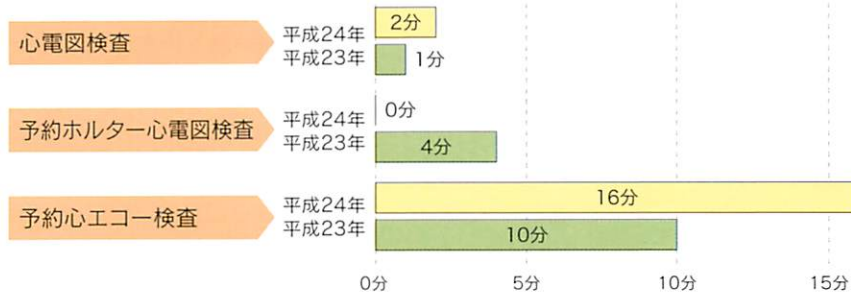
図2.放射線科の受付から検査時間まで



放射線検査の受付から検査開始までの待ち時間を示します。当院では、予約外でもMRI、CT検査を極力施行するようにしています。予約外CTの待ち時間は13分ほど延長していますが、MRIは年々短縮し、一昨年の三分の一程度となっています。検査時間は特に変化はありませんでした。

5.生理検査の待ち時間と検査時間

図3.生理検査の待ち時間と検査時間



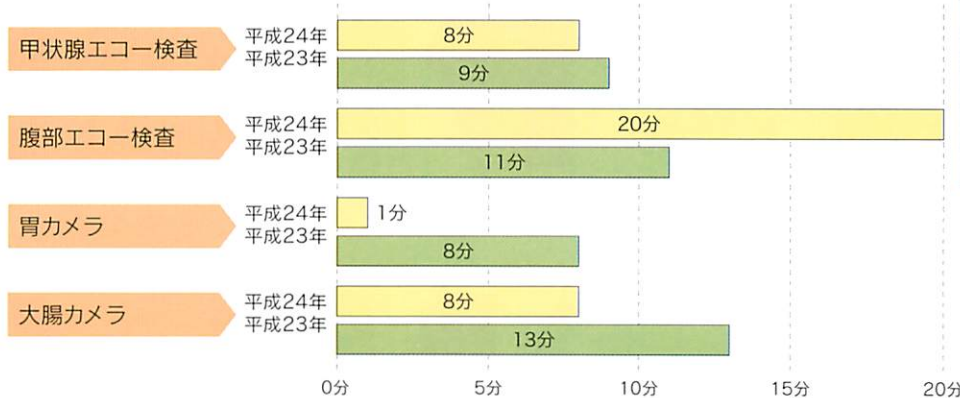
(人)

各生理検査の患者数	平成23年	平成24年
心電図検査	8	8
予約ホルター心電図	2	1
予約心エコー	5	3

生理検査の待ち時間は平均2分35秒、検査時間41秒と若干の延長が見られますが、サンプル数が少なく、有意な延長とはいえないと思われます。

6.エコー検査と内視鏡検査の待ち時間と検査時間(予約時間からの待ち時間)

図4.エコー検査と内視鏡検査の待ち時間



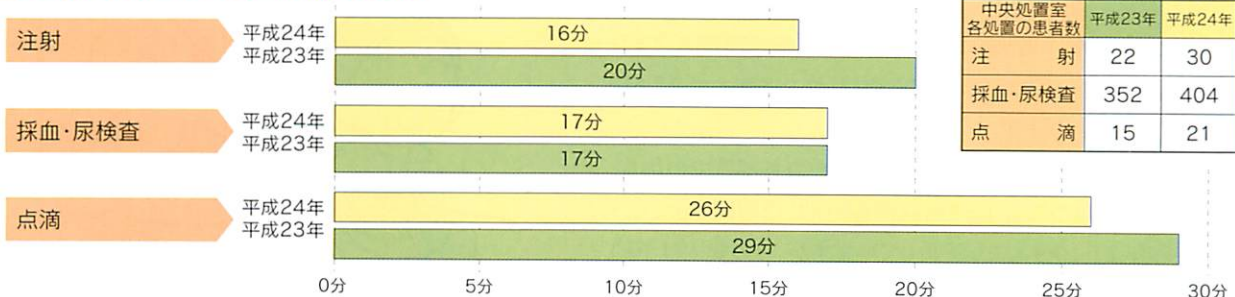
(人)

エコー検査と内視鏡検査の患者数	平成23年	平成24年
甲状腺エコー	2	3
腹部エコー	3	2
胃カメラ	7	4
大腸カメラ	5	7

超音波検査は、腹部検査の待ち時間が延長しています。放射線検査同様、予約外検査も極力施行していることによると思われます。内視鏡検査は、胃、大腸ともに短縮しています。施行医の増員により2列同時検査が可能となっていることが大きな要因となっていると考えられます。

7.中央処置室各処置の待ち時間と所要時間

図5.中央処置室各処置の待ち時間



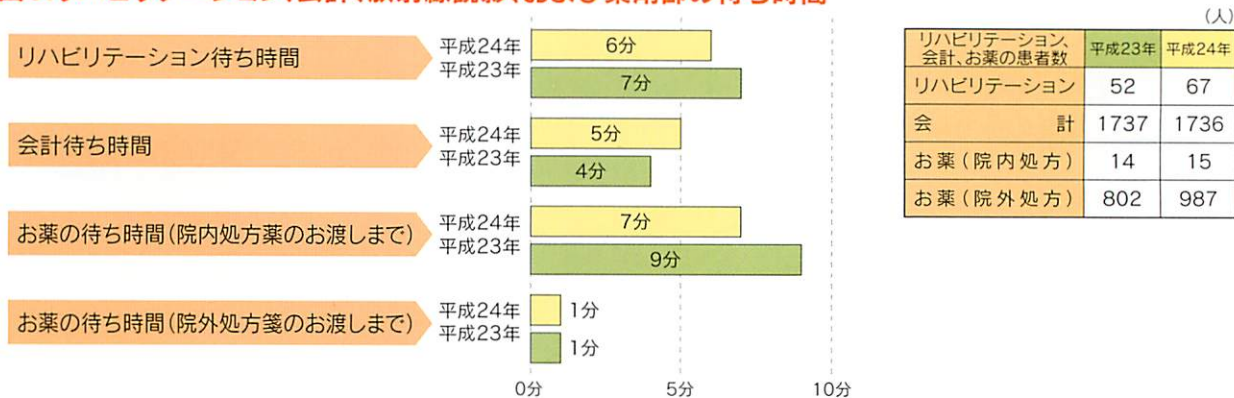
(人)

中央処置室各処置の患者数	平成23年	平成24年
注 射	22	30
採血・尿検査	352	404
点 滴	15	21

中央処置室は、待ち時間、処置時間ともに若干ながら短縮しています。

8.リハビリテーション、会計、および薬剤部の待ち時間

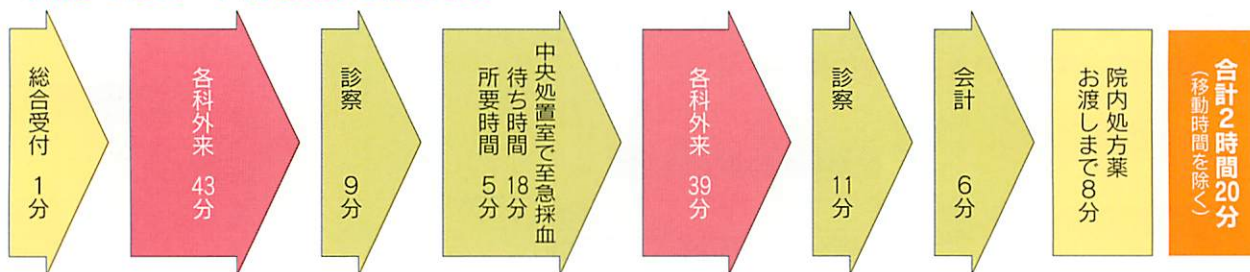
図6.リハビリテーション、会計、放射線読影、および薬剤部の待ち時間



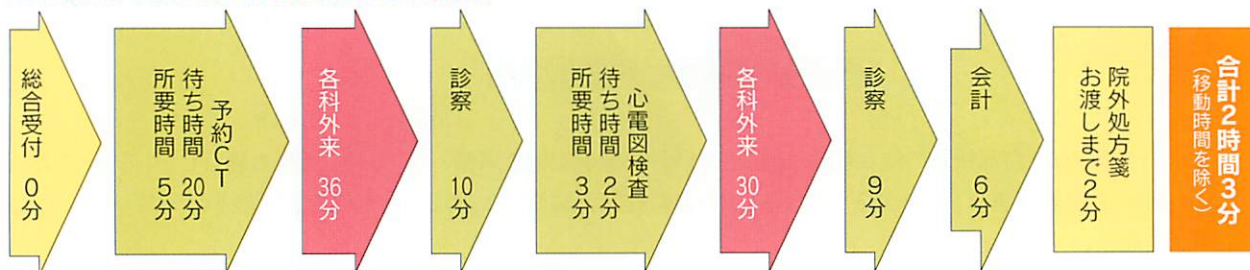
リハビリテーション部門の待ち時間は、患者数が年々増加していますが、わずかながら短縮しています。会計は1分程度延長しています。お薬の待ち時間(お渡しまでの時間)は、院内処方薬は2分短縮、院外処方薬は変わりありませんでした。

9.病院滞在時間の内訳

1)初診でひとつの科を受診された場合



2)再診でひとつの科を受診された場合



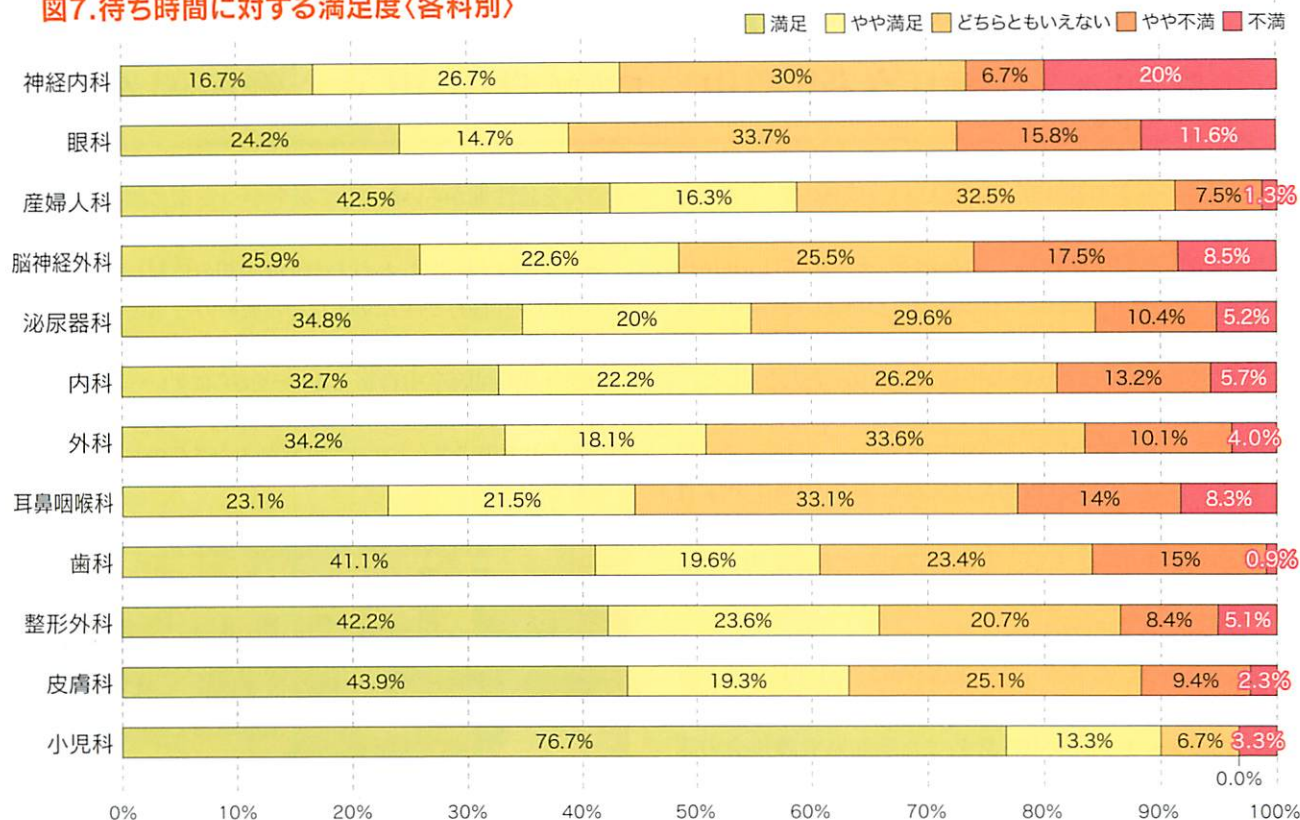
初診でひとつの科を受診された場合の各部署での待ち時間は図のようになり、全病院滞在時間は2時間20分でした。これには待ち時間のほか、診察時間、検査時間も含まれますが、診察時間は若干ながら延長していますので、望ましい傾向と思われま。

再診でひとつの科を受診された場合の各部署での待ち時間は図のようになり、全病院滞在時間は2時間3分でした。昨年より10分あまり延長していますが、その要因は予約CTの待ち時間延長と若干の診察時間の延長によります。



10.待ち時間に対する満足度

図7.待ち時間に対する満足度〈各科別〉



待ち時間に対する満足度を5段階でお答えいただきました。有効回答数1,890で、「満足」と「やや満足」と答えていただいた方は合計55.5%でした。一方「やや不満」と「不満」と答えられた方は17.7%、「どちらともいえない」は26.8%でした。「満足」と「やや満足」の合計が50%を下回ったのは13診療科中4診療科(神経内科、眼科、脳神経外科、耳鼻咽喉科)でした。また、「やや不満」と「不満」の合計が20%を越えたのも同じ4診療科で、今後特に改善措置が必要と思われます。

不満とされるご意見としては、「診察までの時間が長い」「予約したにも関わらず待ち時間が長い」「検査後の診察までが長い」といった待ち時間そのものに対するものが多くありました。少数ながら、「急患により待ち時間が長くなったことに対する説明が足りない」といった職員の対応に対するご不満意見もみられました。

【平成24年の結果から】

当院の「外来患者さんの待ち時間調査」は平成20年から開始し、今回で5回目となりました。少しずつながら待ち時間は短縮しつつありますが、一方で、急患診療や予約外検査の対応などにより延長している部分もあります。救急患者さんには、1回の来院でできるだけ診断・治療を進めることが重要ですので、予約患者さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解いただければ幸いです。

さて、待ち時間対策は、①待ち時間を短縮すること(物理的待ち時間対策)と、②待ち時間を快適に過ごしていただく(心理的待ち時間対策)という2つの要素に分けられると思います。日常業務の改善や、院内情報の流れの円滑化と管理方法の改善、そして患者さんの流れの改善など、現実待ち時間を短縮することも重要と考えておりますが、長時間病院にいていただいても苦痛を感じていただかないよう、職員の意識改善やアメニティ設備の拡充も、病院理念である「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」の実践に繋がると考えます。

今回の調査にご協力いただき、貴重なご意見をいただいた患者さんに深くお礼申し上げます。今後も定期的調査により待ち時間の改善を図り、みなさまによりご満足いただける病院を目指してまいりますので、今後ともご協力、ご意見をいただきますようお願い申し上げます。

第5回脳卒中合宿セミナーを終えて

脳卒中センター部長 久保 道也 看護師 堂田 恵子 鷲塚優希

「終わったー!」参加者のやり遂げたという達成感に充ちた爽快な笑顔を見るのは、会を主催する側にとってはこの上ない喜びです。

第5回済生会富山病院脳卒中合宿セミナーが、6月30日(土)～7月1日(日)の2日間にわたって当院で行われました。参加者数はこれまで最高の186名で、西は九州地区や山陰地区、東は関東地区からも、多数の医療職の皆様にご参加いただきました。

今回のテーマは「脳卒中再入門 ～各専門職が伝えたいプロの視点とそのツボ～」でした。脳卒中は医師のみでは決して結果を出すことができません。医師だけでなく、看護・リハビリ・栄養管理・薬剤管理・地域連携など各部門がそれぞれ専門的な視点からの英知を集約してこそ、患者さんにとって最善と思われる質の高い医療を提供することができるのです。そして、これこそが「チーム医療」であると確信しています。

特別講演として、福井赤十字病院脳神経外科部長の波多野武人先生からは、福井県における急性期の脳主幹動脈閉塞症に対するカテーテル治療のお話を、また愛知県看護協会の認定看護師教育課程主任教員の齋藤 泉先生からは脳卒中患

者さんを急性期からいかにして安全かつ安楽に離床を進めるかというお話を、それぞれしていただきました。

セミナー終了後には、われわれの取り組みに対して齋藤先生から「富山の奇跡」というこの上ないお褒めの言葉をいただき、なか照れくさい気分になりました。

来年も第6回脳卒中合宿セミナーをさらにグレードアップして予定するとともに、脳卒中の「チーム医療」にますます磨きをかけ、脳卒中の患者さんとそのご家族のみなさんのお役に立ちたいと考えています。



第3回一般公開講演 「嚥下障害」～口から食べることをあきらめない～

栄養管理科主任 竹之内 弘美

6月30日、サンシップとやまを会場に、第3回食を支えるプロジェクトとして一般公開講演を開催、129名の参加がありました。このプロジェクトは、摂食・嚥下サポートチームが安全な経口摂取を支援することを目的に活動を行っている中で、一般向けに開催している講演です。第1回目が「えんげ障害」-“食べにくい”“むせる”と感じたことはありませんか?、第2回目が「嚥下障害」-食べる楽しみ家族で取り組む誤嚥予防、そして今回は「嚥下障害」-口から食べることをあきらめない-と毎回テーマを変えて行っています。今回の講演内容は、前副院長の田近貞克先生の「口から食べられなくなったらあなたは...」、摂食・嚥下障害看護認定看護師の高田さんから当院の胃痙攣状況と、胃痙攣の問題にも触れました。看護師・歯科衛生士・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・管理栄養士の多職種による劇仕立ての講演「木曜お昼だよ、嚥下回診全員集合!」では、嚥下回診の場面を通して患者さんの問題点について各職種が解決法や対処法を説明しました。そして、歯科の河合宏一先生は「きれいな口 噛める口 飲み込める口」との題で食べ物をおいしく食べるための口のしくみ等について講演されました。

第1回目からチームスタッフが着用し、お馴染みのチームロゴ入

り「えんげTシャツ」、今回は田近先生や河合先生、さらには三崎拓郎院長、金山洋子看護部長も着用し参加して下さい、とても感激しました。参加者の感想にも「院長や看護部長なども参加され病院が協力的でうらやましい」との記載がありましたが、嚥下チームのチームワークの良さはさることながら、他部署や病院の多大な協力があり第3回目の講演会が開催出来たのだと思います。「また開催してほしい」や「1年に1度ではなく増やしてほしい」との感想もあり、またえんげTシャツを着て、第4回一般公開講演が開催出来ればと思います。



認定看護師合格の声



認知症看護認定看護師

橋本 佳子

現在日本の人口は1億2806万人です。その中で65歳以上の高齢者は2958万人と超高齢社会に突入しました。病院においても入院患者さんの多くは高齢者であり、の中には認知症患者さんもいらっしゃいます。認知症による記憶障害や判断力障害などから、戸惑いや混乱など、さまざまな症状をおこされます。そんな認知症患者さんの症状を把握し、「なぜその症状がおきているのか？」を理解し、症状が軽快されるようお手伝いしていきます。そして患者さんやご家族が、安心して治療を受けることができるようにしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



救急看護認定看護師

横井 よしみ

救急看護とは「あらゆる場面で生じる患者さんへの救急処置が必要となる状況での看護活動」を言います。救急看護の場としては、大きく3つに分けて、①救急外来、②急性期や救急疾患を扱うICU、③災害の場になります。

救急看護認定看護師とは、救急医療ニーズに応じて、救命技術から危機的状況にある患者さん及びご家族への精神面の看護に至る幅広い救急看護領域において、的確な判断に基づいた確実な救命技術の実践・指導・相談を行う看護師です。現在は、救急外来において“重症な患者さんを見逃さない”ことを目的とした「救急トリアージ」に取り組んでいます。

突然の受傷・発症に対して、安全かつ迅速に対応し、患者さん及びご家族の不安を少しでも軽減できるように努めていきます。また、救急医療に従事するスタッフが自信を持って、チーム医療が実践できるように現場環境を整えていきたいと思っています。よろしくお願いします。



糖尿病看護認定看護師

若林 昌子

このたび、社会保険看護研修センターの教育課程で7ヵ月間の研修を終え、糖尿病看護認定看護師資格を取得いたしました。外来診療で糖尿病患者さんたちと関わる中、糖尿病看護の重要性を感じ認定看護師になりたいと思いました。

糖尿病の治療は、病気のコントロールのために生活習慣の是正を余儀なくされます。しかし、どの年代においても、自分の役割を果たしながら、慣れ親しんだ生活習慣を変えることは容易なことではありません。

糖尿病を持つ患者さんたちが、社会や家庭の中でその人らしく生活し「糖尿病であっても充実している」と感じてもらえるような支援を目指し、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



慢性呼吸器疾患看護認定看護師

前川 典子

慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、呼吸器疾患患者さんの肺に残っている機能を維持、向上させ呼吸困難などの症状を緩和する役割があります。たとえば、呼吸困難で辛い思いをされている患者さんが楽に過ごせる体位と一緒に考えたり、その人にあった呼吸リハビリテーションを提案いたします。そして、患者さんやご家族に寄り添い、自分らしく生活していけるようなお手伝いをしたいと思います。

今後も自己研鑽していきます。どうぞ、よろしく願いいたします。



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

馬場 彰一

脳卒中では「片方の手足が動かない」「言葉がでにくい」「上手く飲み込めない」など、脳の障害により色々な症状がでます。その為、患者さんは「歩けない」「話せない」「食べられない」など、日常生活のさまざまな場面で障害と向き合うことになります。そんな時に患者さんができないことを手助けし、できるように支援していくのが脳卒中リハビリテーション看護です。今までできていたことができなくなった患者さんの心と体を支え、少しでもできるようになったことを患者さんと一緒に喜べる看護をしていきたいと考えています。これから皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしく願いします。



認定戦隊 駆けつけるンジャー



夏祭り

リハビリテーション科 理学療法士 松下一紀 松波 香苗

8月20日に当院の研修ホールにて「夏祭り」を開催しました。今年も昨年同様、患者さんやご家族の方など、お盆明けの平日にも関わらず81名の方に参加していただきました。

今年は「患者さん・ご家族へ楽しみを提供すると共に、病院スタッフも一体感と達成感をもつ」を目的に看護部協力のもと、運営スタッフを昨年より16名増員し30名にて行いました。

当日はブースに「ストラックアウト」・「キックボリング」・「ヨーヨー釣り」・「キーホルダー作り」・「輪投げ」・「くじ引き」の6つに加え、休憩スペースを兼ねた「喫茶店」の7つを用意しました。ブースを担当したグループは、看護師とリハビリスタッフが協力しながら仕事の合間や夜遅くまで練習や試作を重ね、当日に向けて準備を行いました。また「喫茶店」には、栄養管理科に協力していただき、飲み込みに障害のある方でも食べることのできるゼリーを準備しました。当日はどのブースにも列が連なっており、ストラックアウトなどのゲームに何度も挑戦される方や喫茶店で美味しそうにゼリーを食べる方など多くの笑顔や真剣な表情が見られました。

催しのビンゴ大会では、患者さんにルーレットを回してもらったり、患者さんにも参加していただきました。番号が呼ばれるたびに、必死にカードを見ておられる患者さんの表情や「ビンゴ!」に

なった時の喜びの表情は、普段の入院生活では見ることのできない表情で運営スタッフも驚きました。また締め盆踊りでは、患者さんやご家族に素晴らしい踊りを踊っていただき、無事、夏祭りを終えることができました。

夏祭りについてのアンケートでは、「童心に返ることができました」「楽しい時間でした」など運営スタッフにとって嬉しい意見が多く集まりました。

来年も今年以上に盛り上がる「夏祭り」を企画したいと思っています。



私達の 職場

栄養管理科

管理栄養士 舘盛 朋子

『患者さんの気持ちになって、心の込もった喜ばれる食事を提供し、治療の貢献に活かす』

栄養管理科は病院職員4人、委託職員20人で構成されている混合部署です。全員で話し合っただけで決めた上記の理念を胸に毎日一緒に働いています。

私たちの業務は主に、安全でおいしい食事の提供に努めた「給食管理」と、栄養面から患者さんの疾患治療の促進を目指す「栄養管理」の2つに分かれます。「給食管理」は、患者さんの病態に応じた食事を毎日提供しています。その数は1日で約500食。少しでもお食事を楽しんで頂けるように、季節に応じた行事食、A・Bの2種類の献立から選べる選択食などを行っています。また、疾患や食べる機能、嗜好等に合わせて形態や嗜好の個人対応もしています。「栄養管理」では、患者さん一人一人の栄養状態を評価し栄養計画を立案する栄養管理計画書の作成。入院・外来患者さんへの栄養指導。チーム医療(NST、摂食嚥下サポート、緩和ケア、褥瘡対策サポートなど)の参加が主たる業務になります。専門的知識をそれぞれが身につけ、多角的に治療に参加できるよう日々勉強しています。

現在、給食業務は業務委託しておりますが「給食管理」と「栄養管理」は切っても切り離せないものです。知識や病棟で得た情報は、朝礼やスタッフミーティングだけでなく、日々の業務の中でコミュニケーションをとり、科内全員で共有するように取り組んでいます。これからも“食”を通して患者さんの笑顔が増えるように栄養管理科一丸となって頑張ります。



NEW FACE PROFILE

新人 自己紹介

①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等

医局



イマニシ シンゴ
①今西信悟
②内科副医長
③医師として未だ経験不足・勉強不足を痛感する日々ですが、呼吸器だけでなく患者さん全体を診療できるように頑張ります。



ハヤシ トモヒデ
①林 智秀
②脳神経外科医員
③10月からお世話になります。脳卒中の患者様の診療に全力で取り組みたいと思っています。



サマ タ ヒトアキ
①沼田仁彬
②整形外科医員
③富山の皆様のお役に立てるよう、一生懸命頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。



サイトウ マコト
①齋藤 誠
②臨床研修医
③このたび平成24年卒後初期臨床研修医として採用されました齋藤誠です。よろしくお願いします。



看護部



シバ ユウタ
①柴 雄太
②看護師(7階病棟)
③この8月に富山へ戻ってきました。関東での経験を活かし、新たな気持ちで看護を学んでいきます。



ナガ エユリコ
①永江百合子
②看護師(中央処置室)
③再就職にあたり不安もありますが、笑顔を忘れず、初心に戻って頑張ります。どうぞよろしくお願いします。





社会福祉法人 富山県済生会支部 富山県済生会 富山県済生会富山病院

理念 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

1 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

2 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

3 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)を受ける権利があります。

4 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

5 プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。



患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ・ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えて下さい。
- ・診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えて下さい。
- ・他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



済生会富山病院報

発行者
富山県済生会富山病院
院長 三崎 拓郎

【編集委員会】

井内 和 幸	加藤 智 代	久保 道 也
佐々木 正 詞	嶋 作 英 之	下 司 洋 春
関 岡 綾 子	西 川 和 良	野 崎 南 沢
堀 田 裕 子	松 倉 裕 喜	
川 部 泰 臣	八十島 のどか	

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL(076)437-1111(代)FAX(076)437-1122
ホームページアドレス <http://www.saiseikai-toyama.jp/>
メールアドレス hospital@saiseikai-toyama.jp